

東洋大学「人間価値研究会ダイバーシティ研究グループ」シンポジウム  
後援 日本出版学会、(一社)電子出版制作・流通協議会

テーマ： 障害者差別解消法と電子書籍のアクセシビリティ

日時： 2017年10月31日(火) 15時～17時

場所： 東洋大学白山キャンパス 8号館 7階 125 記念ホール (都営三田線白山、東京メトロ南北線本駒込下車徒歩5分)

<http://www.toyo.ac.jp/site/access/access-hakusan.html>

内容： 開会の挨拶  
犬童周作情報流通行政局情報流通振興課課長

基調講演 石川准静岡県立大学教授

「国連障害者権利委員会と我が国の障害者政策」

報告1 「電子書籍の音声読み上げ—SSMLの導入に向けて」

大野勝利アライド・ブレインズ株式会社

報告2 「大学図書館と電子書籍のアクセシビリティ」

盛田宏久大日本印刷株式会社 honto ビジネス本部

パネルディスカッション

パネリスト

石川准静岡県立大学教授 (国連障害者権利委員会委員、内閣府障害者政策委員会委員長)

植村八潮専修大学教授 (日本出版学会会長)

大野勝利アライド・ブレインズ株式会社代表取締役社長

加藤千恵子東洋大学総合情報学部教授

盛田宏久大日本印刷株式会社 honto ビジネス本部

コーディネーター

松原聡東洋大学副学長 (電子書籍制作・流通協議会アクセシビリティ特別委員会委員長)

参加：

事前申し込み不要

シンポジウム開催趣旨：

電子書籍の普及が著しく、発行点数は40万点とも50万点とも言われている。また文字拡大（リフロー）や音声読み上げ機能に対応するものも多くなってきた。しかし、電子書籍が本来持つ、アクセシビリティ機能が十分に生かされているとは言い難い現状にある。

一方、我が国において、国連の「障害者の権利に関する条約」の締結に向けた国内法制度の整備の一環として、2016年4月「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」（「障害者差別解消法」）が施行されている。

本シンポジウムでは、国連障害者権利委員会委員の石川准静岡県立大学教授をお迎えして、障害者差別解消の国際的取組と日本の立場について基調講演をお願いした。また、総務省「電子書籍のアクセシビリティを確保するための調査研究」を3年にわたって受託した（一社）電子出版制作・流通協議会からこの調査研究の総括をご報告いただく。さらに、電子書籍のアクセシビリティ確保では大きく遅れている大学図書館等での、今後の対応についての報告をいただく。

これを受けて、5名のパネリストで、電子書籍のアクセシビリティ確保の問題を手がかりに、日本での障害者差別解消、より広くダイバーシティの確保について議論をすすめていく。